

# 中外製薬のDxへの取り組み概要

2020年4月

中外製薬株式会社

執行役員

デジタル・IT統轄部門長

志済聡子



CHUGAI  
DIGITAL

## Agenda

1. 中外製薬のご紹介と中期経営計画
2. デジタル戦略推進部の設立、全社デジタル戦略
3. デジタル基盤の構築

## Agenda

1. 中外製薬のご紹介と中期経営計画
2. デジタル戦略推進部の設立、全社デジタル戦略
3. デジタル基盤の構築

創 業：1925年3月10日

資 本 金：730億円

連結従業員数：7,394人

連結売上収益：6,862億円

営 業 利 益：2,249億円

(2019年12月期Coreベース)

本社：東京

研究所：4拠点（浮間、鎌倉、御殿場、シンガポール）

工場：3拠点（宇都宮、浮間、藤枝）

国内営業拠点：7統括支店、36支店

海外営業拠点：5ヶ国（英・独・仏・中・台）

海外開発拠点：4ヶ国（米・英・中・台）

(2020年2月末現在)

1925



関東大震災後  
の薬不足を  
憂いて創業

1960s



医療用医薬品  
へのシフト

1980s



バイオ医薬品  
への注力

2002



ロシュと戦略的  
アライアンス  
開始

2019

IBI 21

INNOVATION  
BEYOND IMAGINATION  
創薬で、想像を超える。

新ビジョン・  
新中期経営  
計画開始

# 中外製薬の5つの強み



CHUGAI  
DIGITAL



様々な環境変化に対応し、革新的新薬を核としたイノベーションによる社会・当社の発展を加速する

## グローバル成長ドライバーの創出と価値最大化

### 1 Value Creation

治癒/疾患コントロールを目指した  
革新的新薬の創製

### 2 Value Delivery

患者中心のソリューション提供による  
成長ドライバーの価値最大化

### 3 個別化医療の高度化

デジタルを活用した高度な個別化医療の実現とR&Dプロセスの革新

## 事業を支える人財・基盤の強化

### 4 人財の強化と抜本的な構造改革

イノベーションを支える人財の育成と、抜本的なコスト・組織・プロセスの改革

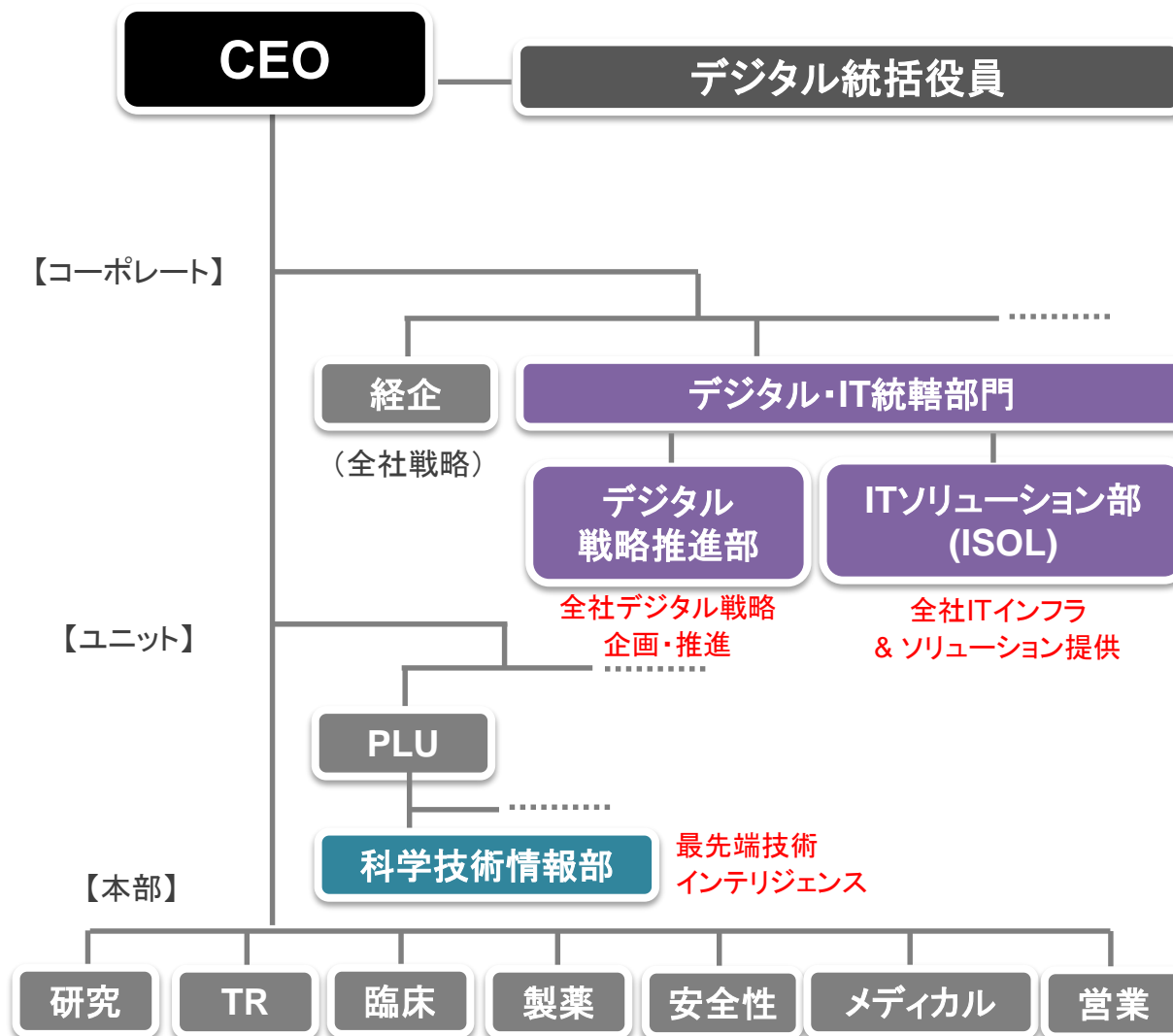
### 5 Sustainable基盤強化

企業の成長と社会の持続的な発展の同時実現

## Agenda

1. 中外製薬のご紹介と中期経営計画
2. デジタル戦略推進部の設立、全社デジタル戦略
3. デジタル基盤の構築

# デジタル戦略統轄・推進組織体制図（2019年10月より）





デジタル技術によって中外製薬のビジネスを革新し、  
社会を変えるヘルスケアソリューションを提供する  
トップイノベーターになる

## “ビジネスを革新する”とは

- ◆ AIを活用した革新的医薬品の継続的な提供を実現する
- ◆ 全てのバリューチェーンの大幅な効率化を実現する
- ◆ 革新的なサービスが提供できる体制を構築する
- ◆ 中外製薬の社員の意識、組織・風土を変える

## “社会を変える”とは

- ◆ 個々人に寄り添った最適な個別化医療の提供を実現する
- ◆ 超早期診断・予防・治癒の実現によるライフタイムを通じた高いQOLを実現する
- ◆ 人口減少、少子高齢化の社会でもsustainableな社会保障制度を実現する

# ビジョンと連動した中外デジタルロゴのコンセプト

中外がデジタルによって、その殻を破りビジネスを革新する



中外がデジタルによって、外部（社会）と繋がりを、社会を変えるソリューションを提供する

CHUGAI  
DIGITAL

## ◎ 中外製薬 小坂社長・CEO 環境変化に対応すべく「必要な改革を推進」

小坂達朗社長・最高経営責任者は、製薬産業を取り巻く激しい環境変化に対応すべく、「必要な改革を推進する」と強調した。また持続的な成長を実現するためには、「グループ全体の機能をさらに強化し、スピードと機動力を高める必要がある」とし、**デジタル**への対応を重視する姿勢を鮮明にした。

具体的には、**デジタル・IT**を活用した一元的な戦略の確立・実行に向け、2019年に新設した**デジタル・IT**統括部門のもと、**AI**を活用した革新的な新薬創出とバリューチェーン効率化をスピーディかつ強かに推し進める考えを表明した。

また、独自のサイエンス力・技術力に基づくイノベーションを通じた医療への貢献を目指す方針を提示。次世代イノベーションとして、新たな抗体エンジニアリング技術を用いたスイッチ抗体の臨床試験が2020年にスタートすることに期待感を表明。中分子医薬品についても、中期経営計画「IBI 21」の期間中に臨床開発に着手することを目指したいとした。

出典：ミクスOn-line <https://www.mixonline.jp/tabid55.html?artid=68580&ex200107>

# CHUGAI DIGITALの対外発信

様々な媒体を通して、社会、ステークホルダー、パートナーに対するメッセージを発信

## Annual Report 2019



- ✓ 2020年3月にAnnual Report 2019を発行
- ✓ ステークホルダーに向けて、当社が目指すデジタルトランスフォーメーションを発信
- ✓ 10年後のリスクと機会を見据えて戦略とロードマップを説明

## Webページ開設



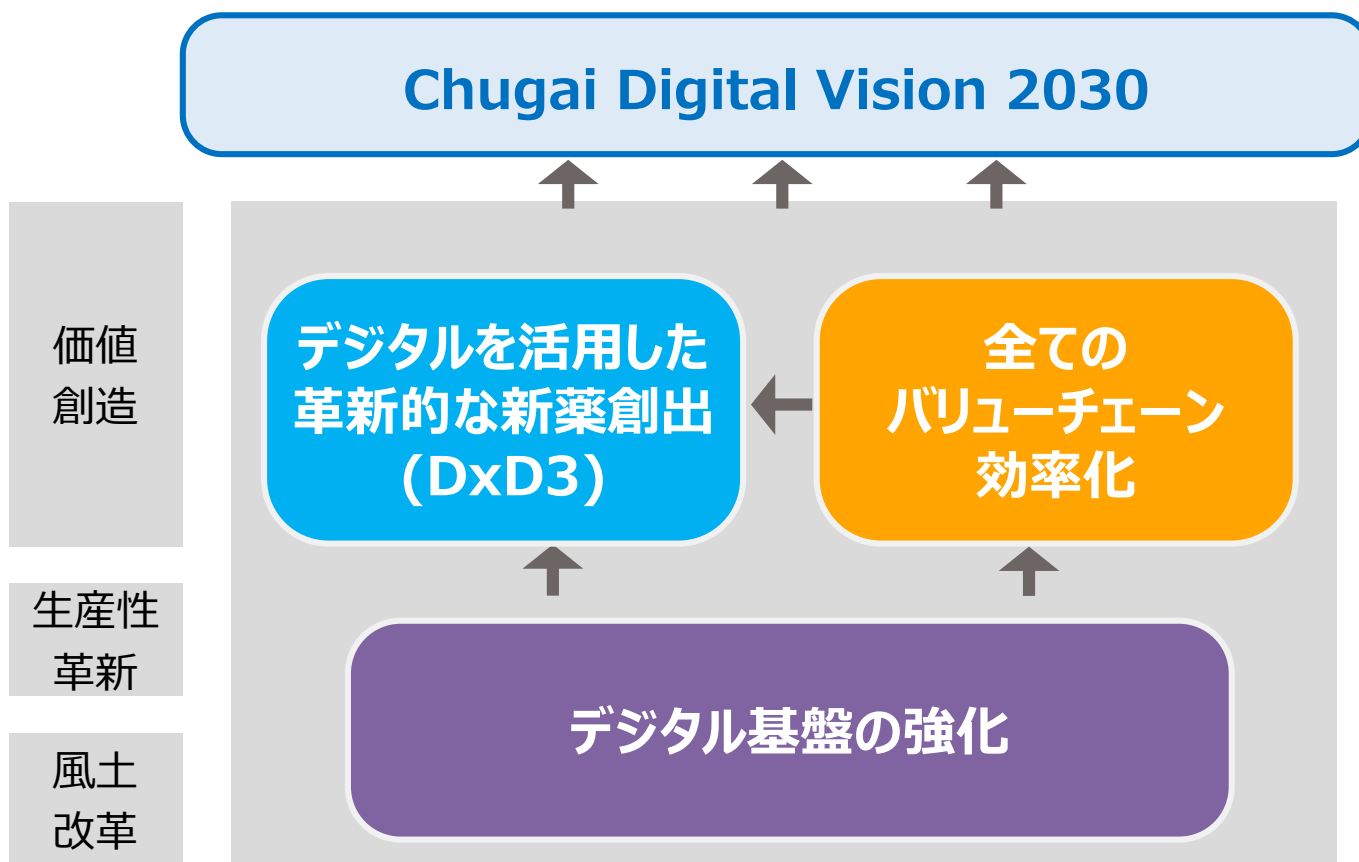
- ✓ 社外に向けてweb ページを開設。キャッチフレーズは「デジタルで変える、ヘルスケアの未来」
- ✓ 当社がデジタルに取り組む理由や基本戦略を説明し、パートナー企業やデジタル人財に対しても発信

## プレスリリース

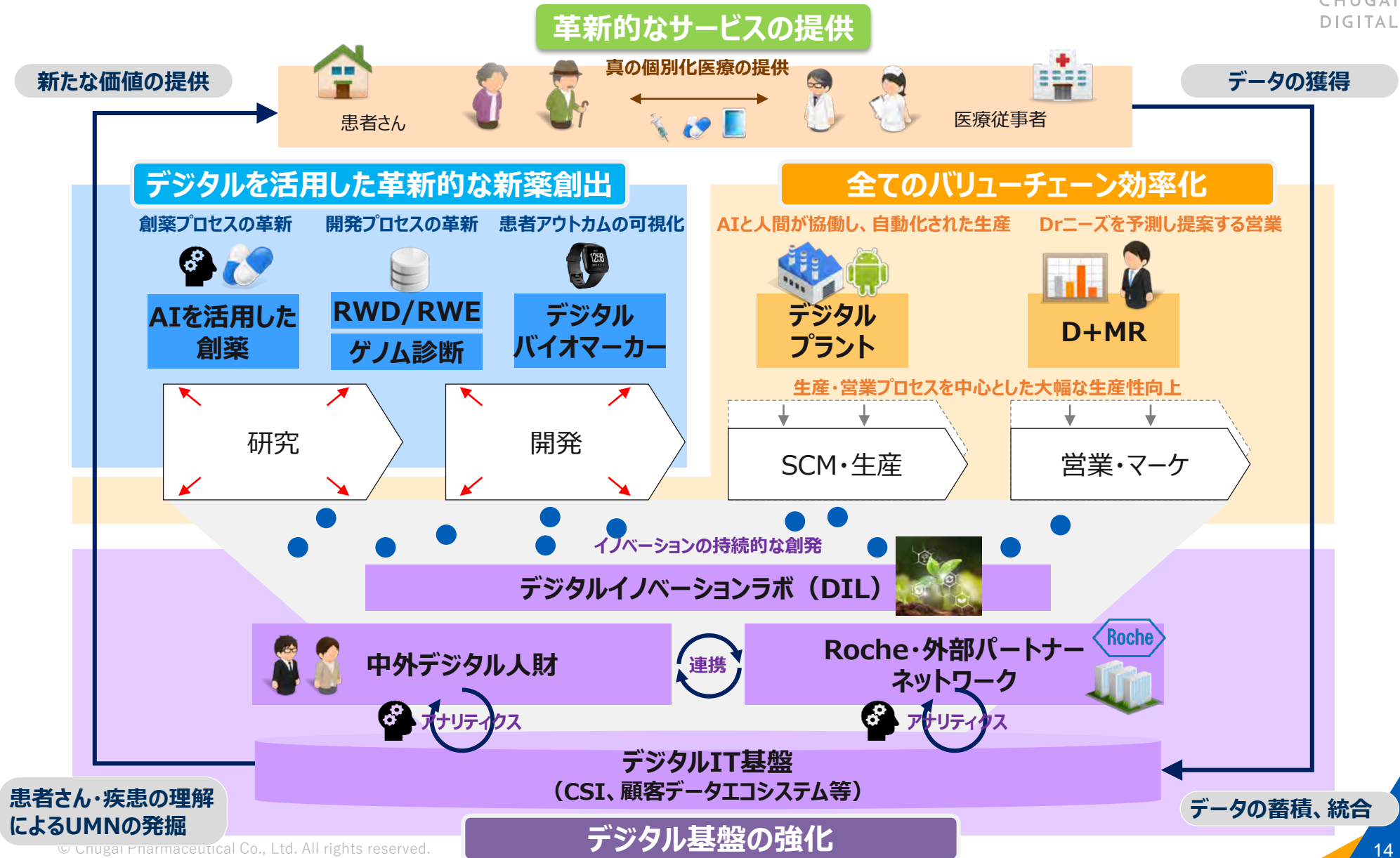


- ✓ 「CHUGAI DIGITAL VISION 2030」を社外に向けて発表
- ✓ AIの活用や基盤の構築といった、3つの基本戦略の具体的な事例やこれまでの成果も公表

デジタル基盤を強化し、全てのバリューチェーンを改革することで圧倒的に生産性・効率性を向上させると共に、デジタルを活用することにより革新的な新薬を創出し、社会を変えるヘルスケアソリューションを提供する。



# 中外製薬のDxの絵姿





## Agenda

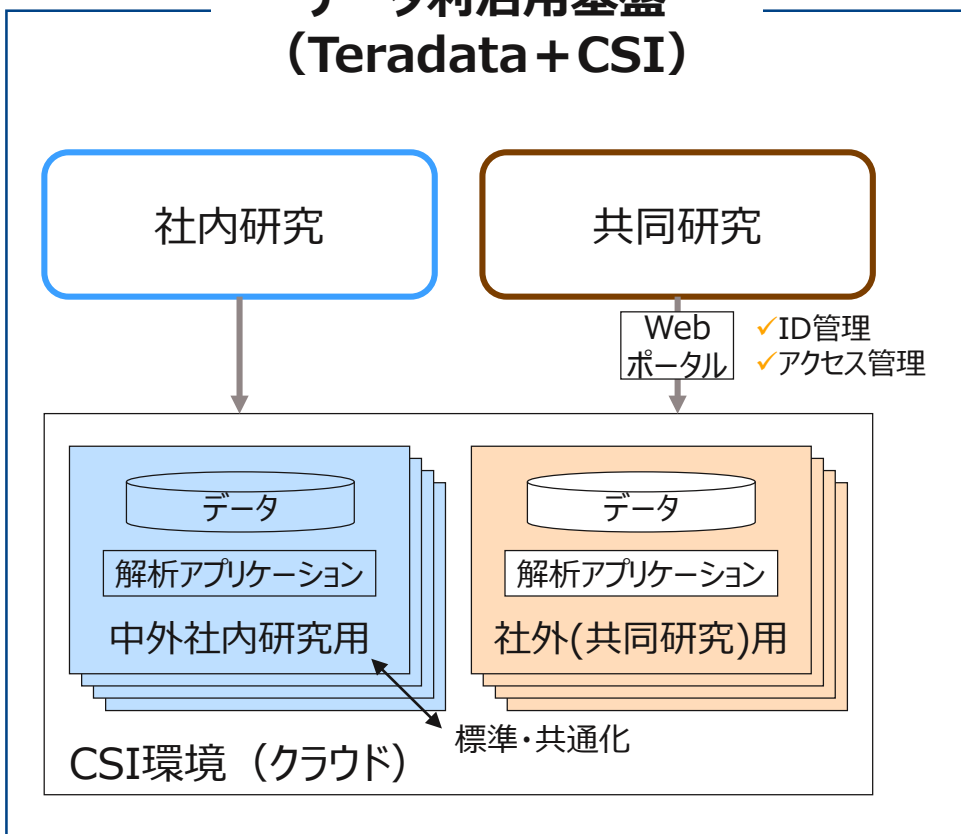
1. 中外製薬のご紹介と中期経営計画
2. デジタル戦略推進部の設立、全社デジタル戦略
3. デジタル基盤の構築



# 全社データ利活用基盤 Chugai Scientific Infrastructure (CSI) 1.0

高度データ解析の実現に向けた基盤を構築。2020年以降も各本部向け・共同研究向けに機能拡張予定

## データ利活用基盤 (Teradata + CSI)



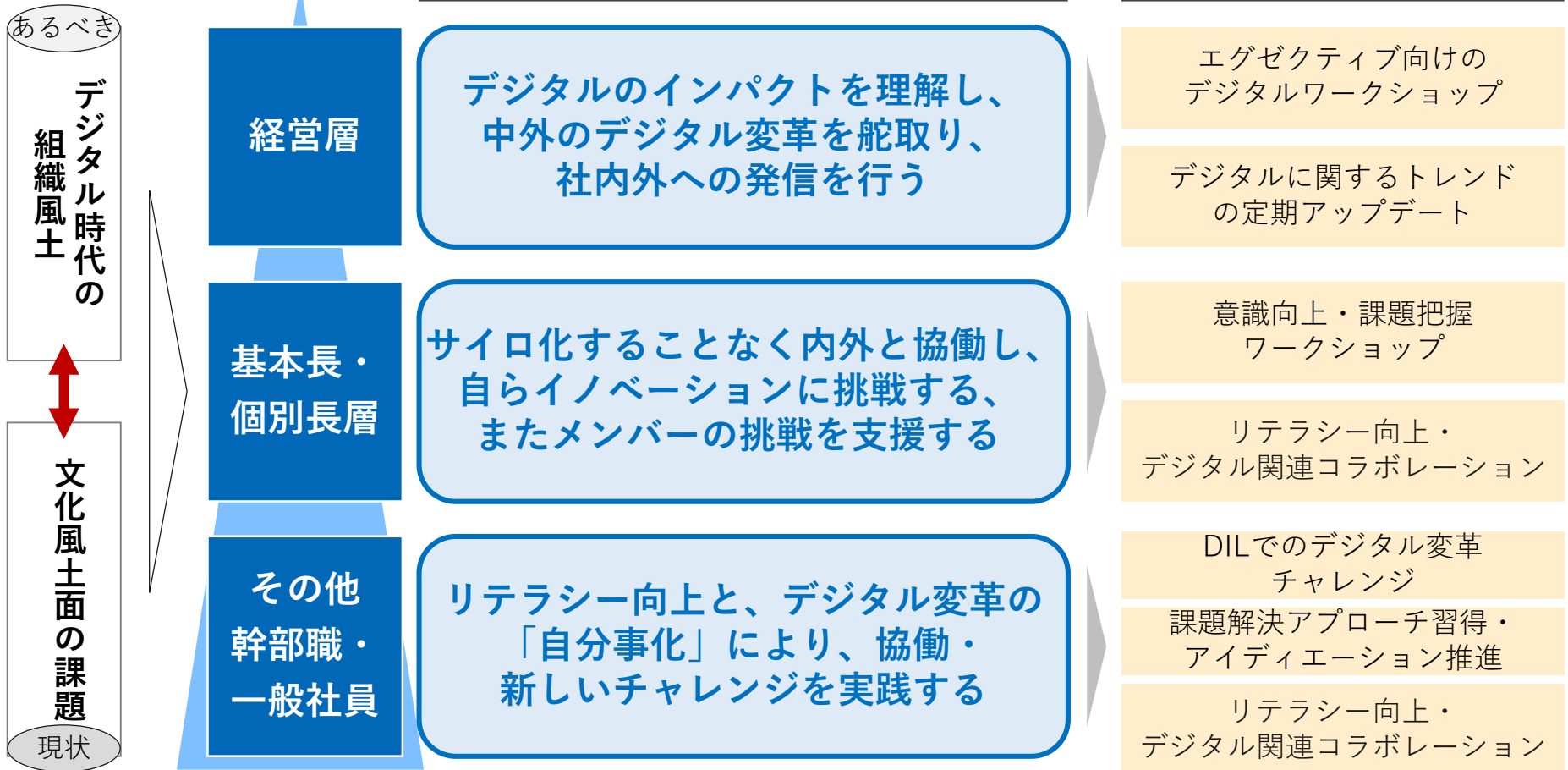
## CSI1.0で実現できること

- 環境構築期間が2週間程度に短縮
- 作業の共通化・自動化によりコスト大幅減（1/10以下に）
- アカデミアや病院との共同研究プロジェクトを迅速に推進する研究環境を提供可能に
- 情報流出、外部攻撃等の安全性リスク低減

# 【文化・風土改革】各層で目指したい姿

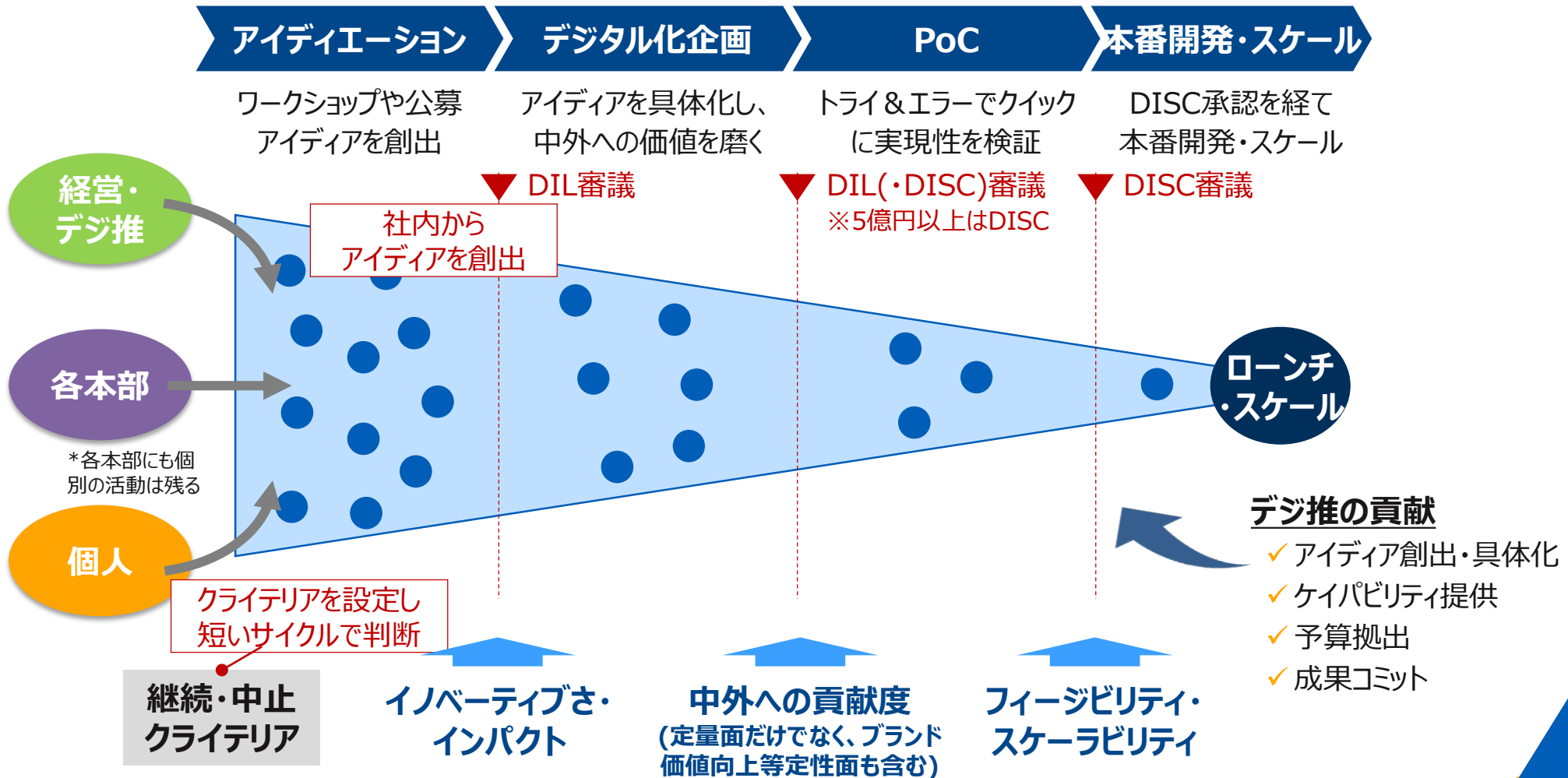
## 目指したい姿

## 今期の取り組み例



RPA導入により約3万時間の自動化に成功

2020年2月からpre-DIL開始。20件中6件を企画化中。

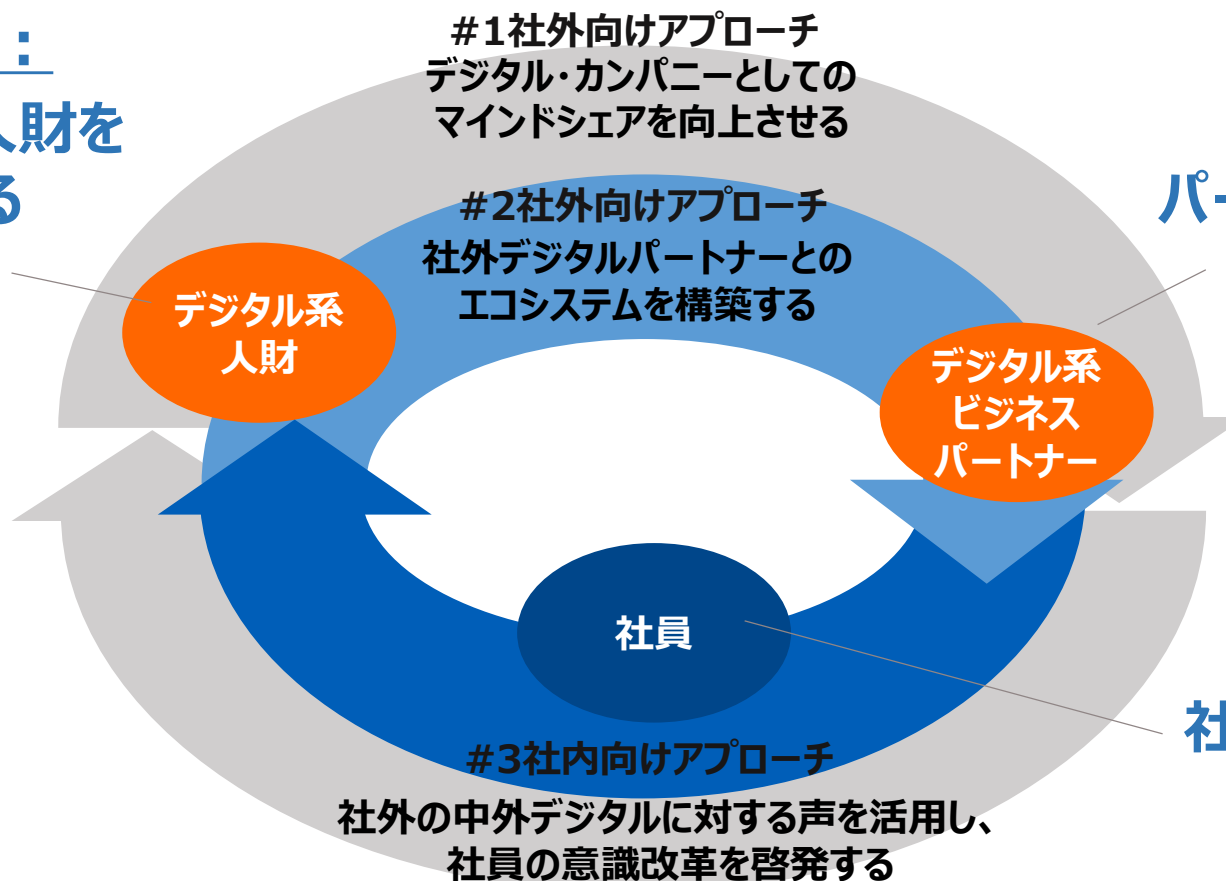


‘中外デジタル’の産業界におけるマインドシェアを向上させ、デジタル人材獲得や様々な“デジタルコミュニティ”とのコラボレーションを実現するとともに、その波を社内のデジタル変革にも繋げていく。

**目的1：**  
デジタル人材を  
集める

**目的2：**  
デジタル系  
パートナー企業を  
惹き寄せる

**目的3：**  
社員のマインドを  
変革する





CHUGAI  
DIGITAL